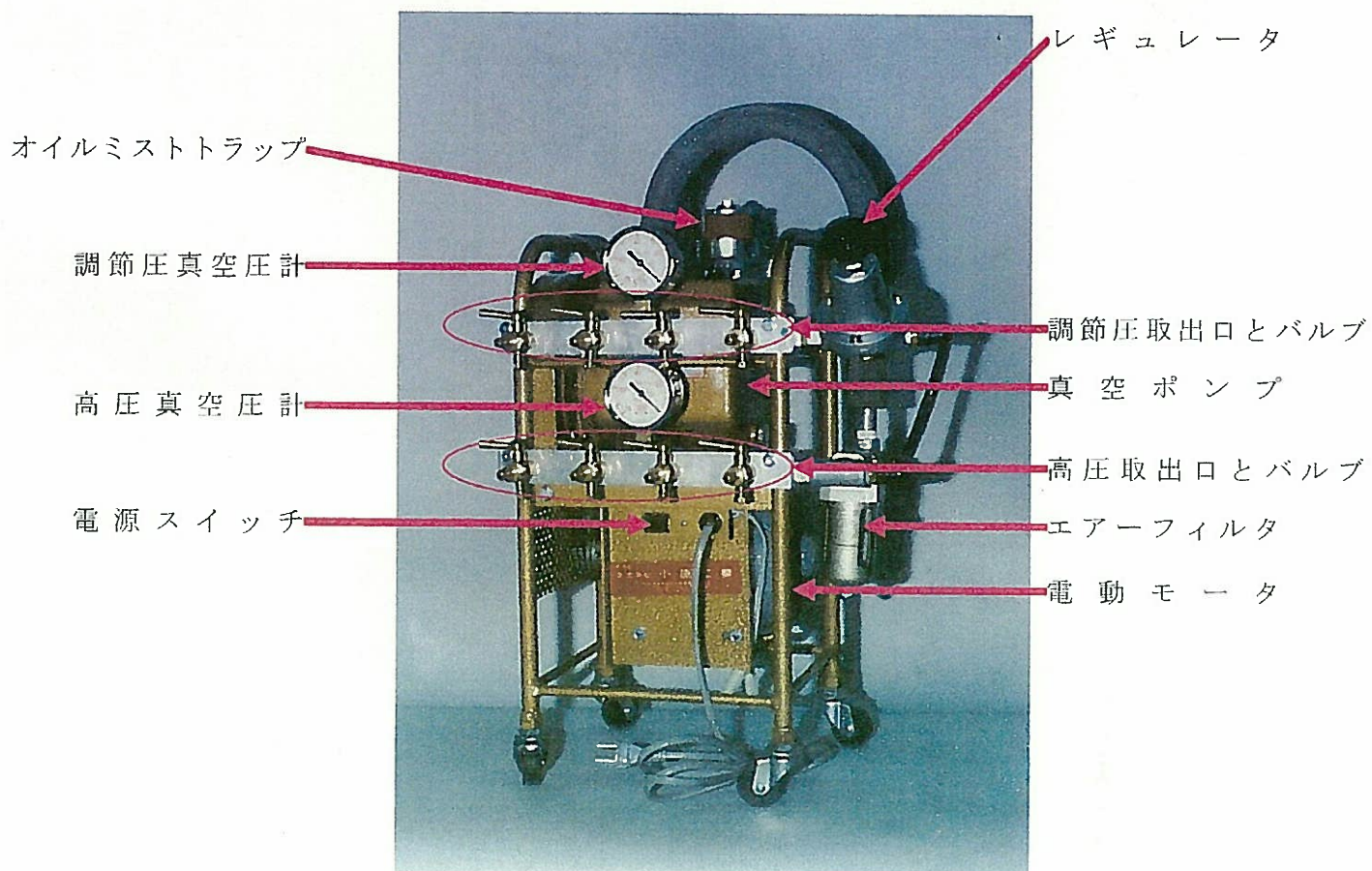


真空ポンプ VP-50 ソケット用

小型真空ポンプは故障しやすく耐久性に欠けるという難点がありましたが、この小型真空ポンプは老いるポンプを使用して長寿命設計になっております。しかも持ち運びが楽にできるよう4輪自在キャスターをとりつけ作業場内の長距離運搬には手押しで、また重量も21kgと軽量であるため近距離は手持ちで移動させることができます。レジンを吸引のためのレギュレータによる引圧は0～750mmHgの間で自由に調節可能で4箇所の取り出し口と最高圧取り出しのため別に4箇所の取り出し口を設けました。

仕様

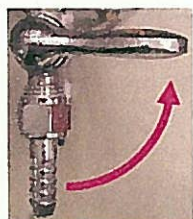
電	力	:	単相 100V, 200W				
排	気	速	度	:	50 リットル／min		
油		量	:	1 リットル			
最	高	圧	力	:	750mmHg		
回	転	数	:	600r.p.m.			
高	圧	取	出	口	数	:	4ヶ所
調	節	圧	取	出	口	:	4ヶ所
寸		法	:	幅 230×奥行 250×高さ 560mm			
重		量	:	約 21kg			



取扱要領

1. 機能説明

本体の電源コードを 100V 用コンセントに接続します。調節圧取出口と高圧取出口を全て閉じます。高圧取出口下の電源スイッチをオンにすると下の高圧真空計は、最高圧になるまで上がります。調節圧真空計は、レギュレータで調節された値まで上がります。調節圧の調整は、レギュレータ上部の黒いハンドルを反時計方向に回すと下がり、時計方向に回すと上がります。

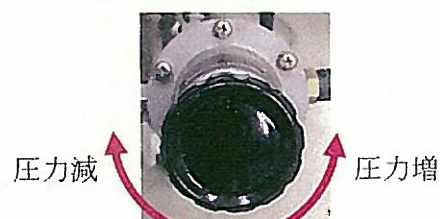


バルブ閉



バルブ開

取り出し口のバルブの状態（上面）



真空圧の調節

レギュレータ（上面）

2. 真空ホースの接続と作業手順

本体の電源コードを 100V 用コンセントに接続します。調節圧取出口と高圧取出口を全て閉じます。

- ① 調節圧取出口と高圧取出口の使用する取出口に真空ホースを接続してください。フットスイッチを使用する場合は、ホースを接続したバルブを開けてください。
- ② 義足・義手ソケットの製作する場合、モデル棒は内引きと外引きの接続のあるものを使用して下さい。内引きと外引きにはそれぞれ調節圧取出口を別々に接続し、樹脂注型をします。プラスチックソケットやプラスチック装具製作には一般的に高圧取出口を使用します。
- ③ 樹脂注型をする場合は、PVA を陽性モデルに被せてシールした後にホースを取りつけたバルブを開けてください。プラスチックソケットやプラスチック装具を真空成型する場合は、軟化させたプラスチックを陽性モデルに被せてシールした後に、フットスイッチをオンするかホースを取りつけたバルブを開けてください。
- ④ 樹脂注型もしくは真空成型終了後に、使用していないバルブを開けて圧力を下げてから電源スイッチを切ってポンプを停止させてください。

圧力を下げないで、真空ポンプを停止させた場合、油が逆流してオイル漏れの原因となる場合があります。

点検

始動時に真空ポンプのスイッチを 2,3 回入切してから、油量を真空ポンプ横ののぞき窓で点検してください。窓中央の赤いラインが油量の適正值です。

本体に添付しています佐藤真空株式会社の取扱説明書を熟読し、正しくご使用ください。